



2023年度

藍畑だより

第12号

2023.7.7(金)

発行責任者 上萩琴美

多くの人と触れ合える機会を

コロナ2019が第5類に移行し、教育活動は平常に戻っています。なかでも、4月の「よろしくね集会(1年生を迎える会)」, 6月の「なかよし集会(人権集会)」, 7月の「七夕集会」などの異学年交流や、ゲスト・ティーチャーや専門家を招いての学習, 校区内探検や社会科見学が可能になったことは、子どもたちにとって何よりの学びの場になっています。

低学年にとっては、優しく頼りになる上級生を見て、かっこいいと思ったりお手本にしたりしています。中・高学年になれば、多くの人と関わるなかで、これまでに会った人と比較したり総合的に考えたりして、自分にとっての人生のモデルとなる人を見つけるきっかけにも繋がります。

これからも、いろいろな交流・体験できる場面を設定し、生成AIが台頭してきた時代だからこそ、人との触れ合いを大切に、社会で通用するコミュニケーション力の基礎を身につけてほしいと思います。



【4年生 清掃センター等見学】6月30日(金)

社会科の学習に関連して、石井町清掃センター・リサイクルセンターを訪れ、わたしたちの出すゴミがどう処分されるのかを学びました。

自分たちが住む地域のくらしを守るしくみについて理解することで、感謝の気持ちや、これまで何気なく捨てていたゴミをきちんと分別し、処理しやすくして処分しようという意識が育てばと思います。

【1年生 はつらつサポート(水あそび)】7月5日(水)



県教育委員会主催の事業で、水泳インストラクターによる水泳学習を行いました。

これまで顔が水につけられなかった子が勇気を出してつけてみたり、大プールでの泳ぎを楽しみながら体験したりと、水に親しんでいました。

2・3年生も、6月と7月に1回ずつ、石井ドームのインストラクターに指導していただく機会を設けました。下学年のうちに水に慣れ、怖がらずに学習できる素地を整えておくことで、上学年で泳力をつけることができたらと期待しています。

【3年生 DAIJU PARK見学】7月5日(水)

5・6月の校区内探検の時、瀟洒な建物内で寛ぎの一時を楽しんでいる人を見かけ、気になってしかたがなかった3年生。

子どもたちの気持ちを大切にしたいと考え、見学依頼の連絡をしてみると、快く引き受けてくださいました。和菓子が作られる工程を見せていただいたり、お菓子作りの苦勞・工夫を聞かせていただいたりして、子どもたちは大満足の様子でした。



【七夕集会】7月7日(金)



4年ぶりに縦割り班での活動、幼稚園との合同集会が実現しました。異学年交流で生き生きしている子どもたちの様子を見ると、大切な体験活動だということを再認識します。1年生も少し先輩気分で、お兄さん・お姉さんとして幼稚園のお友達に優しく接していました。

6年生は、最高学年としての自覚が一段と高まったようです。素敵な集会の計画・準備、進行、本当にお世話になりました。

藍畑小教育

□ 学校教育目標

『心豊かで、たくましい子どもの育成』-自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成-

□ めざす児童像

「あ」 あいさつをする子

「は」 はげましあって がんばる子

「い」 いじめをしない やさしい子

「た」 たくましい子